

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2016. 5. 9

下水道機構の『新技術情報』 第233号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

週末は全国各地で気温が上がったようですね。今日5月9日は東京アイスクリーム協会の設定した「アイスクリーム」の日だそうです。アイスクリーム屋さんによっては特典があるところも。アイスクリームを食べて今週も頑張りましょう(^_-)☆

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第233号をお届けします。
業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・熊本地震の下水道管路の調査支援における機構の活動について
- ・「下水道施設土木躯体の劣化調査先進技術」の公募を開始しました

■機構の動き

- ・今週は、5/12(木)に技術サロンを開催します

■Tea Break

- ・ゴールデンウィーク（資源循環研究部 T.I さんからの投稿です）

■まる子のゆいまーる♪

- ・本日のゆいまーるは、前号に引き続き新職員紹介をお届けします

■国からの情報

- ・4/28付下水道ホットインフォメーション

インフォメーション（最新の話です）

●熊本地震の下水道管路の調査支援における機構の活動について

下水道機構は熊本地震の下水道管路の被災状況の調査について4月23日より現地で支援活動を行っており、研究第二部の片桐担当部長が30日に支援業務を終了し、復帰しました。以下、片桐部長からの報告です。

被災した関係市町は、管路の1次調査を、「熊本地震下水道現地支援本部」（以下、「本部」という。）の協力のもと4月20日より開始し、27日に完了しました。本部は国・県・調査支援都市や日本下水道事業団などの関係機関からなりますが、下水道機構は4月23日（土）の2次隊から本部に加わり支援を開始しました。

1次調査では、八代北部流域、宇土市、宇城市、阿蘇市、長州町、大津町、菊陽町、御船町、嘉島町、益城町にある污水管及び一部の雨水管約340kmを対象として調査を実施し、被災箇所を把握しました。

本部では、主に2次調査に向けた段取りや調整を、国や市町、関係団体と行い、その結果、29日から2次調査が順次開始され、関係市町すべてが5月9日から2次調査に入る運びとなりました。

当機構は3次隊、4次隊として引き続き職員を派遣し支援を続けており、1日も早い下水道復旧に向けて取り組みをすすめています。

●「下水道施設土木躯体の劣化調査先進技術」の公募を開始しました

公募締め切りは平成28年6月30日（木）です。

※詳細はこちら

http://www.jiwet.or.jp/?attachment_id=19445

※応募様式はこちら

http://www.jiwet.or.jp/?attachment_id=19448

。○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○。

●平成28年5月12日（木） 17:00~18:00

行 事：第348回技術サロン

場 所：機構8階 中会議室

ゲスト：横浜市環境創造局下水道管路部管路保全課長 脇本 景 氏

テーマ：「横浜市における下水道管きよのストックマネジメント（仮）」

※お申し込みはこちら

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○。

●ゴールデンウィーク（資源循環研究部 T.Iさんからの投稿です）

今年のゴールデンウィークは5月2日と5月6日の2日を休むと10連休になります。今年と全く同じ条件で10連休となったのが2011年でした。ちなみに、この両年は年末年始が6連休と少し短くもの足りなく思った人が多かったのではないのでしょうか？

ところで、来年は年末年始が6連休と短く、ゴールデンウィークは5月1日と5月2日を休むと9連休となります。

日本では長期に休む習慣がありませんので、この機会にぜひ年休をとって大いにリフレッシュしたいものです。天気予報はあまり良くありませんが、一番過ごしやすい季節でもありますので、できるだけ戸外に出て新緑を楽しみたいと思っています。

日本では、年休をとりにくいという風土から、国民の祝日が結構多いということがあり、ゴールデンウィークのような大型連休が可能となっています。去年は5連休となった9月のシルバーウィークも話題になっています。

。○○。

まる子のゆいまーる（皆様との交流の場です）

。○○。

●本日のゆいまーるは、前号に引き続き新職員紹介をお届けします

<http://www.jiwet.or.jp/archives/yuimaru/2016-5-9>

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→

\★/

jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則400字以内。写真等はA4版にして原則2ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2016.4.28付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 岩崎宏和

=====

早いもので4月も終わりに近づき、明日からゴールデンウィークです。

地震対応でそれどころではない方も多いと思いますが、

官民挙げて下水道復旧に向けた調査や応急復旧等が着々と進められています。

下水道ネタですが、新書「下水道映画を探検する」が4月25日に発売されたとの情報を頂きました。帯によると、日本で唯一の下水道専門誌『月刊下水道』で人気を博した前代未聞の映画ガイド、まさかの新書化！ということです。

<熊本地震情報>

○熊本県熊本地方を震源とする地震について

http://www.mlit.go.jp/saigai/saigai_160416.html

○熊本地震における国総研の活動状況

<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/kumamotojishin2016.html>

<今週の報道発表>

○平成28年熊本地震における下水管の概略点検が完了しました

～一日も早いインフラの完全復旧を目指して～

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000300.html

○内水浸水対策に関するガイドライン類を策定しました

～新たな「七つ星」が内水による浸水被害軽減を導きます～

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000298.html

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○研究集会「医療と下水道」のお知らせ（NPO 21世紀水倶楽部）

○「豊田市下水熱広域ポテンシャルマップ」を作成しました（愛知県豊田市）

=====

○研究集会「医療と下水道」のお知らせ（NPO 21世紀水倶楽部）

医療の発達につれて薬、ワクチン、造影剤など様々な医薬品が生産され、流通している。それらの消費量は大幅に増加しており、医療施設や個人での使用によって下水道等へ流れ込み、さらに、環境中へ流出しているおそれもある。研究集会では、医療排水に焦点を当てて考えていこうというものである。

1 日時：平成28年7月8日（金）13:30-17:00

2 場所（公財）日本下水道新技術機構8F 中会議室（予定）

住所：東京都新宿区水道町3-1 水道ビル

交通アクセス：東京メトロ有楽町線「江戸川橋」駅徒歩2分

3 プログラムと講師

3.1 開会挨拶（13:30）

3.2 講演（13:35~15:35、各40分講演）

・「医療廃棄物の適正処理」有害・医療廃棄物研究会原田優理事

・「病院排水と下水道」三機化工建設（株）石井和則部長

・「公共用水域における医薬品の存在と挙動」京都大学流域圏総合環境質研究センター

中田典秀助教

3.3 総合討論 (15:50~16:50)

3.4 閉会 (17:00)

閉会后、場所を変えて交流会 (30 人) を予定しています。

4 参加者及び参加費

研究集会参加費会員、大学・公共団体等：無料

民間企業等：2,000 円

交流会参加費 2,500 円

5 申込方法・期限

NP021 世紀水倶楽部 HP (<http://www.21water.jp/>)

にアクセスしていただき、その申込 欄からお願いします。

申込期限は 6 月 30 日 (木) です。

ただし、定員 50 名に達し次第締め切らせていただきます。

(問合せ先) E-mail: sympo-info@21water.jp または TEL: 03-3980-4567

「21 世紀水倶楽部ホームページ」は

<http://www.21water.jp/index.htm>

ご案内の詳細ページは

<http://www.21water.jp/j-sched.htm>

○「豊田市下水熱広域ポテンシャルマップ」を作成しました (愛知県豊田市)

愛知県豊田市は、環境モデル都市として再生可能エネルギーの導入を推進しており、省エネ効果や CO2 削減が図れる「下水熱」の有効利用が「ミライのフツー」となることを目指し、普及促進に取り組んでいます。

普及促進の取組の 1 つとして、下水熱利用者の導入検討を支援するため、市内全域を対象とした「豊田市下水熱広域ポテンシャルマップ」を作成しました。

これにより、下水熱ポテンシャルが高い場所と下水熱利用の可能性が高い施設とのマッチングが可能となり、施設の空調や給湯設備の新設や更新の際に、「下水熱利用システム」も選択肢の 1 つとしていただくことを期待しています。

下水熱を「フツー」に利用し、エコでお得な暮らしをする。

そんなミライを目指し、今後も普及促進に取り組んでいきます。

豊田市 HP へのリンクはこちら

<http://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/jyogesuidou/seibi/1013945/1013949.html>

「とよた i マップ」では、マンホール毎の下水熱ポテンシャルが確認できます

<http://www2.wagamachi-guide.com/toyotacity/>

=====

【参考情報】

◆ヒートポンプで下水汚泥を乾燥—関電など 3 者が実証へ (4/27 電気新聞)

http://www.shimbun.denki.or.jp/news/energy/20160427_04.html

◆災害時トイレ対策、埼玉県がマニュアル作製 熊本派遣の保健師持参〈4/27 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/region/news/160427/rgn1604270061-n1.html>

◆避難生活、何が役立つ？ 危機管理アドバイザーが報告〈4/26 朝日新聞〉

<http://www.asahi.com/articles/ASJ4T6W3XJ4TUBQU00F.html>

◆熊本市3万7100戸が夜間断水〈4/24 読売新聞〉

<http://www.yomiuri.co.jp/local/kumamoto/news/20160423-0YTNT50052.html>

◆加古川上流浄化センターの見学会 24日、小野で〈4/23 神戸新聞〉

<http://www.kobe-np.co.jp/news/hokuban/201604/0009015252.shtml>

◆海へ下水放流 鎌倉市 〆神奈川〈4/24 毎日新聞〉

<http://mainichi.jp/articles/20160424/ddl/k14/040/172000c>

◆鎌倉市、海に汚水を放流 下水管破損で緊急措置〈4/27 東京新聞〉

<http://www.tokyo->

[np.co.jp/article/kanagawa/list/201604/CK2016042702000179.html](http://www.tokyo-np.co.jp/article/kanagawa/list/201604/CK2016042702000179.html)

（追記）鎌倉市において仮設配管による応急復旧工事を完了。本日送水再開の見込みと聞いております。

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

〇お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

〇メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

〇ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20151030/>
